

ゾウリムシに関するご質問

Q. 細胞の生死は、どのように確認するのですか。

A. ゾウリムシの生死の確認は、虫眼鏡や実体顕微鏡で観察して、泳いでいるかどうかで確認します。生きていれば、各細胞はランダムな方向に泳いでいます。死んでいれば、沈殿するか、またはゴミのように水の流れて従って同じ方向に浮遊します。泳いでいない細胞の生死を確認する際には、スライドガラスに細胞を含む水滴を置き、カバーガラスをかけて顕微鏡で観察します。生きていれば、2個の収縮胞が交互に開閉します。死んだ細胞の収縮胞は開きっぱなしになっています。

Q. 培養液はどんなものがありますか。

A. 培養液は、いろいろなものが使われています。
我々の研究室ではレタスジュース培養液を使用していますが個人で準備するのは困難としますので、一般の方々や高校などで使用している簡易的な培養液を web で探してみてください。
「ゾウリムシの培養」で検索すれば、探せると思います。

Q. 培養液の交換時期を教えてください。

A. 溶液が透明になりましたら、飢餓状態になりますので、培養液を加えます。細胞の増え具合を見て、18 x 180 mm の試験管を使用した場合は、適量(2 ~ 10 ml)の培養液を加えます。
培養液の種類によっては、溶液が透明になりにくい場合もあります。

Q. 容器内に見える沈殿物（ゾウリムシを除く）は何ですか？

A. 当研究室では培養液にレタスジュースを使用しておりますので、レタスの葉由来のカスが含まれています。
このカスは、培養に影響しません。

Q. ミドリゾウリムシの培養に最適な照度を教えてください。

A. クロレラが光合成することができるように2000～2500ルクス程度の光（蛍光灯の近くか窓際）で培養して下さい。
光が強すぎるとダメです。紫外線には弱いので、直射日光などにはご注意ください。

Q. ゾウリムシの酸素補給の為に、1日1回、容器をシェイクした方が良いでしょうか？

A. 容器内のゾウリムシを均一に分散させる意味では、1日1回程度揺するのはいいことだと思います。ゾウリムシは負の走地性を示して培養液の上部の細胞密度が高くなります。シェイクによって、均一に分散させ、容器の下のエサを消費させやすくさせることができます。しかし、ゾウリムシは連続震盪培養をきらいますのでご注意ください。

事務手続きに関するご質問

Q. ゾウリムシ株の提供依頼はメール注文だけでも可能でしょうか？また、支払い方法を教えてください。

A. ゾウリムシ株を提供する際には、MTA 2部（両面コピー）の作成が必須となりますので、メールだけで提供することはできません。

従って、NBRPのHPの分譲/寄託の頁から、MTA書式をダウンロードされて、記入例を参考に作成して下さい。

その際、押印が抜けていたり、記入に不備があった場合は再送して頂くことになりますので、ご注意ください。

本学事務がMTAを確認後、請求書を発行し、後日、別便でご提供者様に請求書をお届けします。

記載された金額を確認していただき、指定の銀行口座に振り込んでいただく運びとなります。